



学校だより

令和4年5月31日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一
〒190-0001 立川市若葉町 1-13-1
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>

「やわらかいところ」

校長 松村 利一

今年度がスタートして、早いもので2か月が過ぎようとしています。学校では、今週末に予定している運動会に向けて、友達と協力し合いながら練習や準備に取り組む子ども達の姿が見られています。今年度も、まだコロナウイルスへの感染防止対策が必要と考え、児童鑑賞日と保護者鑑賞日を設定した形で開催させていただきますが、行事への取り組みを通して成長している子ども達の姿をご覧いただきたいと思います。当日のご参観、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

さて、6月は「ふれあい月間」となります。「ふれあい月間」というのは、東京都教育委員会が「いじめ防止強化月間」と位置付けているものです。本校でも児童アンケートを実施するなどして、困っている子や悩んでいる子が気持ちを伝えやすくなるように努めてまいります。また、いじめの未然防止・早期発見、早期解決のために組織的な指導や対応を行っていきます。

学校の中を回っていると、時々子ども達が言い争う声が聞こえてくることがあります。自分の考えや思いを主張することは大切なことですが、その伝え方が一方的であったり乱暴であったりしてはいけません。「てめえ」「ふざけんなよ」「うざい」・・・そんな言葉は、言われた子はもちろんですが、周りで聞いている子にとっても不快なものです。私は「相手の言い分も聞く姿勢」や「どんなにイライラしたり不満があっても、人を傷つけたり不快にさせたりする言葉や言い方は使わない強さ」を子ども達に求めています。子ども達が使う言葉は、周囲の言語環境の影響を大きく受けます。テレビで使っている言葉、家族が使っている言葉、教師が使っている言葉などがどうであるか、とても大切なのです。子ども達にかかわる大人がみんなで気を付けていきたいですね。ご協力をお願いいたします。

**セトモノとセトモノと
ぶつかりっこすると すぐこわれちゃう
どっちかやわらかければ だいじょうぶ
やわらかいところをもちましょ
そういうわたしは いつもセトモノ**

これは相田みつをさんの詩です。
固いセトモノのような心だと、人を傷つける言葉を簡単に使ってしまう。
「やわらかいところ」をもっていれば、
「大丈夫だよ。一緒にやろう。元気出してね。」

そんな温かい言葉が使えるようになります。相田みつをさんは、最後に「自分はセトモノ」と言っています。これは自分自身を戒め、自分の心を育てようという思いを込めたのではないのでしょうか。若葉台小学校ではセトモノとセトモノがぶつかり合う音が聞こえてこないといいなと願っています。